

平成21年度上期 電力需給状況

需要の概要

平成21年度上期の販売電力量は、136億3千1百万kWh時、前年比 92.3%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、7月から9月の気温が前年に比べ低めに推移し、冷房需要が減少したことなどから、前年比 97.4%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様の気温要因などから、前年比 98.0%となった。

産業用の「大口電力」は、ほぼ全ての業種で前年を下回り、前年比 82.4%となった。

需要実績

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	4,443	97.4
	電 力	959	94.8
	計	5,402	96.9
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	3,339	98.0
	産業用電力	4,890	84.6
	うち大口電力	(3,737)	(82.4)
	計	8,229	89.6
販売電力量 計		13,631	92.3
融 通		1,243	38.0

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

大口電力の主な産業別内訳

	電力量	前年比		
		21 / 上	20 / 下	20 / 上
織 維	157	63.5	82.8	84.2
紙・パルプ	732	74.3	79.4	117.6
化 学	563	79.1	80.0	106.4
鉄 鋼	362	73.7	95.3	106.7
機 械	835	89.3	88.9	105.2
そ の 他	1,088	93.6	97.9	101.3
合 計	3,737	82.4	87.8	106.6

注：日本標準産業分類の改訂に伴い、平成21年4月より産業別内訳がそれ以前と異なる。
平成21年度上期の前年比は、前年同期実績を現在の区分に合わせるにより算定した。

供給の概要

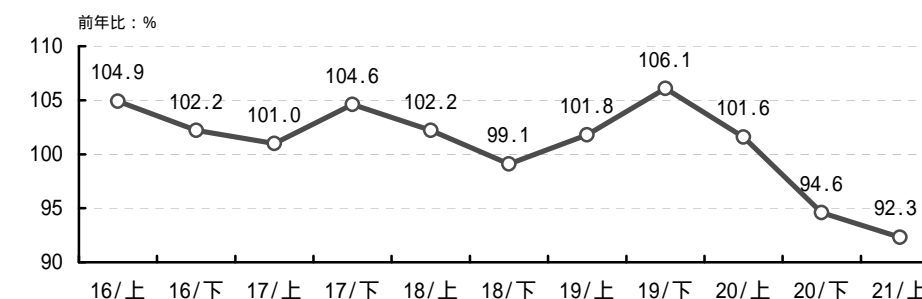
- 原子力は、定期検査の影響により、前年比 83.1%となった。
- 水力は、渇水の影響により、前年比 76.1%となった。
- 火力は、需要の減少により、前年比 83.5%となった。

供給実績

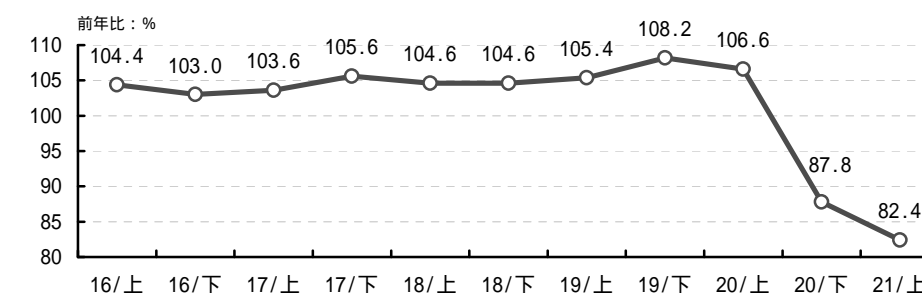
	電力量	前年比	備 考
原子力	(38) 6,369	83.1	出水率 62.3% (20年度上期出水率 80.7%)
水 力	(9) 1,438	76.1	
火 力	(52) 8,531	83.5	
新工ネ	(1) 153	121.4	
発受電計	(100) 16,491	82.9	
その他	165		
供 給 計	16,326	82.9	

注1：新工ネにはバイオマス(22百万kWh時)を含む 注2：()内は構成比

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口電力の前年比の推移



(参考3) 4県都平均気温

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実 績	10.4	15.6	19.9	23.5	26.5	27.6	24.6
平年差	1.1	1.0	1.1	1.0	0.0	0.3	0.8
前年差	0.2	0.3	0.3	0.9	1.9	0.4	0.3

(参考4) 各県別の需要状況

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(90.3) 2,993	(95.4) 2,283	(90.4) 4,735	(94.9) 3,620

注：()内は前年比